

科目名		設計製図A			
担当教員		島山 初音		実務授業の有無	なし
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	単位数	1.5	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築空間の表現・伝達に必須である製図の知識・技術を、実習を通じて習得する			
学習目標 (到達目標)		木造住宅の各種図面の表現と作図手順を学び、木造軸組構法のしくみを理解する			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		○初学者の建築講座 建築製図（市ヶ谷出版） ○製図用具一式 ○配布資料 ●製図用シャープペンシル ●マーカーペン			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	<b>製図の基礎</b> ・ 建築製図と用具 ・ 製図の基本事項			建築製図の役割、図面の種類、用具の使い方を学ぶ 図面に用いる線・文字・記号・縮尺について学ぶ	
2	・ 作図トレーニング			線の表現、文字数字の記入、記号の表記などを 作図実習を通じて技術を習得する	
3	・ 課題実習			平面図・断面図・立面図の作業手順を学び、 作図実習に取り組む	
4	課題提出1			期限内に課題を完成させ提出する	
5	<b>木造住宅の製図</b> ・ 配置図・平面図の作図			作図手順を理解し、実習を通じて技術を習得する	
6	・ 断面図・立面図の作図			作図手順を理解し、演習を通じて技術を習得する	
7	・ 伏図の作図			木造軸組構法を学び、作図演習を通じて技術を習得する	
8	課題提出2			期限内に課題を完成させ提出する	
9	・ 矩計図の理解			木造軸組構法の構成と部材名を学ぶ	
10	課題提出3			期限内に課題を完成させ提出する	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題評価	取組姿勢			【評価基準内訳】 課題評価：課題内容の評価50%、丁寧さ30% 取組姿勢：締切厳守10%、授業態度10%	
80 %	20 %	%	%	2 級建築士試験の設計製図に対応できる基礎技術を 習得 しましょう	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		なし			